

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6年 2月 3日

公表:令和 6年 3月 15日

実施職員数:8名

事業所名:放課後等デイサービス あお

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	2	①部屋を使い分けて、児童の成長に合わせた環境構成を努めています。	■利用人数や学年により狭く感じる。 →施設全体の使用方法を再検討し、療育スペースの確保を行います。
	2 職員の配置数は適切である	5	3	■人数配置は問題ありません。	■現状より良いサービス提供を考えると人手がある事で改善されると思う。職員が欠席になってしまう事で少ないと感じてしまう時がある。 →今後も求人募集は継続していきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	4	■手すり等は設置済み	■細かい段差や通路が狭い。 ■段差は多いが現在通所中の児童にとって問題はないと感じる。 →細かい段差を解消する事に関しては難しい点がありますが、必要に応じて改善します。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	■各児童の記録に関する取り組みや課題の精査を適宜行ない、適切な支援が出来るよう努めています。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	■カンファレンス時に共有を行ない、業務改善に繋げています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	8		現在検討中。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	■必要な研修内容があれば積極的に研修に参加しています。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	■適宜見直しをしている点は良いと思う。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	■Stock(記録)を入れる事により、小さな出来事も見逃す事なく、把握する事が出来る。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	■各プログラムの担当の立案や職員間での提案/見直しを繰り返し、より良いサービスを検討しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	■現在、各児童がカテゴリ分けをすることで日々のプログラムの把握に繋ぐ事を目的に繋がっている。	■曜日毎でのカテゴリを設け、プログラム設定していますが、利用児童の習慣化に繋がった際に再度プログラムの在り方を検討していきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2		■長期休み期間中での活動内容は適宜見直しを掛け、各児童に合わせたプログラム内容に改善。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	■Stock(記録)を入れる事により、小さな出来事も見逃す事なく、把握する事が出来る。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	■毎朝カンファレンスの時間を設け、児童の振り返りや当日の支援内容について確認をしています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2		■職員の勤務時間によっては翌朝になってしまう事がある。 →連携ツールを使用して共有を行っています。 Stockや記録の参照で対応中
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	■Stock(記録)を入れる事により、小さな出来事も見逃す事なく、把握する事が出来る。又各担当や指導員が感じる課題に関する共有を行う事が出来、適宜見直しをかける事が出来ている。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	0			
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0			
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0			
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	0	■必要に応じて各関係機関との連携を図り、濃密に情報交換を図っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	0	■必要な研修事項であれば積極的に参加しています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	8		■現在検討中
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	8	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	■コドモの活用や送迎等での保護者との連携を図り、情報共有を行なっています。	■具体的に保護者等に伝える事が出来ない。 →明確に施設での様子を把握する事が出来るようにシステムの改善や手段の見直しを取り組んでいます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	5		■ペアレント・トレーニング等の支援を今後検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	■見学/契約時に説明を行なっています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	■不安な事があればいつでも相談して下さい。施設の要望等があればいつでもお話を下さい。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8	0		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	■コドモンにて配信 ■インスタの投稿	
	35	個人情報に十分注意している	8	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	8		■現在検討中。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	4		■把握する事が出来ない。 →月1回 定期的に各委員会を開催 不明な点について質問やBCP(業務継続計画)等の書類に目を再度通して下さい。 ■保護者に周知出来ない。 →現在、順次説明中
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		■回数を増加するべき →災害が発生した場合にすぐ動く事が出来るように何度も繰り返し避難訓練を取り組めます。 ■不審者の訓練が行っていない。 →令和6年度での実施を検討します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	■随時虐待防止に関する時間を設けて、虐待に関する知識を高めています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8	0	■契約時や個別支援計画の一部に記載があります。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	アレルギーがある場合には、事前に保護者にご確認させて頂きます。又、必要に応じて提供内容を変更しています。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	毎月発生した事故内容を報告し合い、事故内容の把握に繋げ、リスク管理の意識や実効性を高めています。		